



東京スポーツ新聞社杯 第24回 トウケイニセイ記念 (M2)

水沢競馬場 3歳以上オープン・ダート1600m

12月14日(日) 17:10発走

43戦39勝2着3回3着1回。“伝説の名馬”を冠名としたトウケイニセイ記念は2000年に創設。2019年度(2020年度は休止)までは年明けのレギュラーシーズン最終週をメインに行われていましたが、2021年度から実施時期が年内12月に早まり、岩手競馬版グランプリレース・桐花賞(12月31日 水沢2000m)へもつながる重要な一戦となりました。

【注目馬情報】

★ヒロシクン セン6歳 佐藤雅彦きゅう舎・水沢

昨年、中央1勝クラスから転入。一條記念みちのく大賞典を皮切りに青藍賞、トウケイニセイ記念と重賞3勝をマークして4歳以上最優秀馬に選出されました。今季も赤松杯、シアンモア記念を連勝。一條記念みちのく大賞典はリケアカプチャーノのハナ差2着に惜敗しましたが、マーキュリーカップ10着から青藍賞でフジュージーンの追撃を封じて完勝。堂々2連覇を果たしました。前走・すずらん賞はヘリオスの外強襲に屈し2着に敗れましたが、その後はトウケイニセイ記念に照準を合わせて態勢万全。2連覇に王手をかけました。

★ウラヤ 牡6歳 畠山信一きゅう舎・水沢

中央ダート1400m3勝から昨年7月に転入。あっさり2連勝を飾り、青藍賞1番人気に支持されましたが、反応ひと息で6着。しかしマイルCS南部杯13着から絆カップを快勝。初重賞を手に入れました。今シーズン当初は入着一杯でしたが、徐々に調子を上げて今季3勝目が絆カップ優勝。堂々2連覇を達成しました。ワンターンがベストの舞台ですが、水沢マイルでも1勝。トウケイニセイ記念も上位を狙っています。

★スズカゴウケツ 牡8歳 千葉幸喜きゅう舎・水沢

今年4月、南関東から里帰り。4戦目快勝を含めて2勝2着3回。前走も0秒1差2着にまとめて健在を誇示しました。盛岡6勝に対し、水沢1勝のみですが、うまく脚を貯めることができれば勝ち負けに持ち込めます。

★タイセイアゲイン 牡7歳 佐藤雅彦きゅう舎・水沢

中央ダート3勝後、南関東1勝2着3回・A2クラスから岩手入り。これまで5勝をあげてうち4勝が水沢。前々走の盛岡戦4着から水沢に替わって首位を奪回しました。A級復帰ですが、格負けは一切ありません。

★ダブルラッキー 牡6歳 菅原勲きゅう舎・水沢

相手なりに駆ける堅実さは今年も健在。5勝2着3回3着5回、着外はわずか2度のみと抜群の安定感を誇っています。重賞初挑戦でメンバーが一気に強化されましたが、自分の競馬に徹して上位進出を目指します。

★ユウユウコラソン 牡3歳 佐藤祐司きゅう舎・水沢

2歳時は2勝のみに終わりましたが、3歳を迎えて本格化。3連勝で重賞・イーハトーブマイルを制しました。左回り盛岡が主戦場ですが、成長を続ける3歳馬。一発の可能性を秘めています。

文／松尾 康司